

カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs(17ゴールと169ターゲット)関連項目																
					1 	2 	3 	4 	5 	6 	7 	8 	9 	10 	11 	12 	13 	14 	15 	16 	17
環境	15	<input type="checkbox"/> 【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本	・エシカル認証商品の購入等を通じて生物多様性保全に配慮している							6.6									15	
	16	<input type="checkbox"/> 【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本	・両面コピー、ペーパーレス化で紙ごみを減している															12.5	14.1	
	17	<input type="checkbox"/> 【水の管理】 ・水资源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ								6.4 6.6										
	18	<input type="checkbox"/> 【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ				3.9			6	7					12	13.3	14	15		
	19	<input type="checkbox"/> 【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ														12.6				
	20	<input type="checkbox"/> 【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ								7.2						13				
	21	<input type="checkbox"/> 【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ													12.2	13	14	15		
公正な事業慣行	22	<input type="checkbox"/> 【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	・コンプライアンス遵守を研修などを通じて徹底している																16	16.5
	23	<input type="checkbox"/> 【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	・コンプライアンス遵守を研修などを通じて徹底している																16	
	24	<input type="checkbox"/> 【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本	・知財管理に関する研修を実施している							8.2 8.3	9									
	25	<input type="checkbox"/> 【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	・研修などを通じ個人情報管理を徹底している																16	
	26	<input type="checkbox"/> 【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ																	16	
	27	<input type="checkbox"/> 【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ							5		8	10		12	13	14	15	16	17	
	28	<input type="checkbox"/> 【パートナーシップ構築宣言】(R5.9.5～追加) ・中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している	基本	・【予定】「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している		3					8	9	10							17	

※「パートナーシップ構築宣言」の作成・公表方法は[こちら](https://www.biz-partnership.jp/)。<https://www.biz-partnership.jp/>

	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs(17ゴールと169ターゲット)関連項目																
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
29	製品・サービス	□ 【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	・専任担当者による品質管理を推進している			3.9										12.4				
30		□ 【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本	・顧客の意見を製品やサービスに反映する仕組みを構築している									9								
31	社会貢献・地域資源	□ 【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ							6						12	13	14	15		
32		□ 【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
33	社会貢献・地域資源	□ 【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本	・ステークホルダーとの対話を通じて、自社事業の地域に与える影響を把握し、適切な対応に努めている。			4					9		11	12		14	15		17	
34		□ 【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ				4								11		14	15		17	
35		□ 【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ									8	9		11	12	13				
36	組織体制	□ 【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本	・経営トップ自ら、内部管理体制強化の取組みを推進している								8	9								17
37		□ 【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確實に遵守する体制・仕組みを構築している	基本	・研修や掲示物などを活用して法令遵守（コンプライアンス）の重要性を徹底している																	16
38	組織体制	□ 【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本	・環境担当の専任者を配置している																	16
39		□ 【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	基本	・アンケートやお客様相談担当者を配置してお客様からの要望に対応している																	16 17
40	組織体制	□ 【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ																		16
41		□ 【社会的責任】 ・CSR（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいく	チャレンジ																		16
42	組織体制	□ 【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ											9		11	13	13.1			16
43		□ 【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ										8	9							

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。）
- ・「非該当」欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合にチェックし、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。
(※職場いきいきアバランチ認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、NAGAN Oものづくりエクセレンス認定、信州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるばし認定、循環型社会形成推進功労者表彰、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材C02固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など)
- この「要素2」は、IS026000（※1）、RBA（Responsible Business Alliance）（※2）行動規範等を参考に、非財務情報（SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項）について整理し作成
- 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当てはまる場合は黒字、間接的（結果として）に寄与する17ゴールが当てはまる場合は、赤字で番号を記載
- 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載
※1…組織の社会的責任に関する国際規格
※2…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定